

住民ワークショップ アンケート結果

	会場	感想	話せなかったこと・伝えきれなかったこと
1	落合小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人数の少なさに今後を憂う ・具体的なアイデアが出てきにくいのでテーマ質疑を前もってオープンにしてはどうか？ ・抽象的なワードが定番化している(祭り、自然など) ・このワークショップの結果をどう利用していくかが知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所を検討中とのことだが、冬以外は屋外開催も行い、子供が喜ぶクレープなどのキッチンカー(50%オフ券配布)か色をつけれる綿飴食べ放題などでママ世代の集客が必要ではないか ・生産年齢人口世代をワークショップへ参加させる工夫を ・現状のLINE等の発信では見逃したり、ワークショップの具体像や目的がわからない。学校からもチラシを配布してもらおうべき ・同じく5年後に町の貯蓄が尽きることや、子供が39人しか生まれなかったことをプリントにし、学校から配布して生産人口世代へ周知が必要
2	落合小学校	<p>思ったことをそのままお話できる雰囲気がとても良かったです。</p> <p>子連れで行きましたが会場内のキッズスペースで見守りもして下さり助かりました。</p>	<p>今回のワークショップでのキッズスペースや議会傍聴時の託児は子連れにはとてもありがたく助かっています。</p> <p>学校行事でも学校の中で託児などができれば参観日や親子で参加の行事も気軽に来れそうな感じがしますし、児童との関わりに集中できて良いと思います。</p>
3	境小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を遠慮なく出せるWS手法はとても良いと思いますが、時間が足りず熟議が出来ていないと感じます。 ・子育て世代の参加が少なく残念、出やすい日と時間帯の工夫が必要です。 ・夜は7時～9時までの2時間に延長したらどうでしょう。 	<p>地域住民が参加出来る学校行事(運動会・音楽会・境小押立相撲大会など)は長年の地域の宝、文化遺産のような存在です。又小学校は災害時避難所としても、更に移住を決意する際の判断材料としても重要です。</p> <p>児童数にのみ寄らず、地域の核たる小規模校はぜひ存続させて頂きたいです。地域に密着したコミュニティスクールの存続を期待しています。そのための協力は惜しみません。</p>
4	境小学校	<p>あっという間に時間が過ぎてしまった。</p> <p>参加者の意見がどれも示唆に富むもので有益だった。</p>	<p>帰りたくなる町について</p> <p>14,000人の人口の富士見町の規模が、影響を与えることのできるちょうどよい規模であることというお話を伝えました。</p> <p>そのほかに以下を追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗を問題にしない場所(社会) ・稼ぐ手段の多様性 収入は重要。個人が農業やITのみに固執するのではなくITをベースとして農業を取り入れたり、製造に携わったり。実際に富士見や周辺自治体にある稼ぐ手段を柔軟に取り入れて生活基盤を充実させることを許容するとよい。また、複合的な収入手段に対して、何らかの補助施策を考えられないか。減税であったり、補助金であったり。
5	本郷小学校	<p>参加者が少なく、企画自体に疑義が呈されかねないほどの状態。まずはこれを打破することが先ではないか。</p> <p>今回の議論が、次の何につながるのかサッパリわからない。</p> <p>子供支援係の意思、想いがわか、ない、伝わってこないことなどが問題ではないか。</p>	<p>なぜ人が集まらないか、についてこちらからも意見を聞いて頂きたかった。</p> <p>係から出た意見も良かったが、まだ本質的な部分には至ってない気がします。</p>